

向原群の GPS 発信器位置情報分析結果（令和 7 年 10 月 14 日までのまとめ）

(1) 位置情報の分析結果

1) GPS 発信器の位置情報

向原群に GPS 発信器が装着された令和 7 年 3 月 6 日（装着日）から令和 7 年 10 月 14 日（最新ダウンロード日）までのデータを分析した。

2) 向原群の滞在位置及び行動範囲

向原群の滞在位置及び行動範囲を図 1 に示す。

サル群れの行動範囲は、南北に約 10km、東西に約 5km に広がっており、北は甲田町下小原、東は向原町戸島等、西は吉田町下入江等、そして南は広島市白木町志路まで広がっていた。

また、向原群の滞在位置は、人里・農地があるような山際に多く、山奥へ戻ることは少なかった。

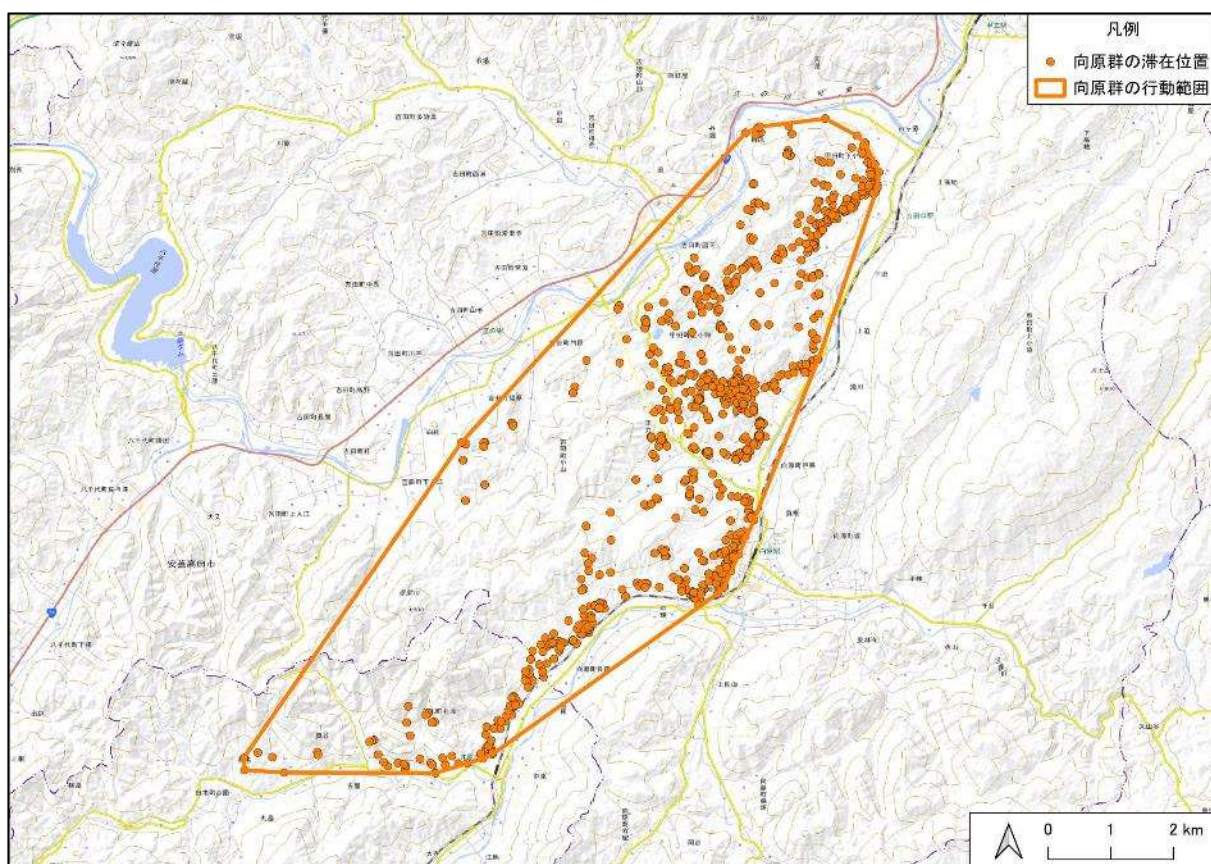


図 1 向原群の滞在位置及び行動範囲（データ：R7.3.6～10.14）

3) 向原群の滞在頻度

向原群の滞在頻度（ヒートマップ）を図 2 に示す。

向原群の滞在頻度は、安芸高田市向原町の越門、向井原付近、甲田町の内長見付近の、集落、農地があるような人里近くの山際で滞在が高かった（図 2 の赤色部分）。

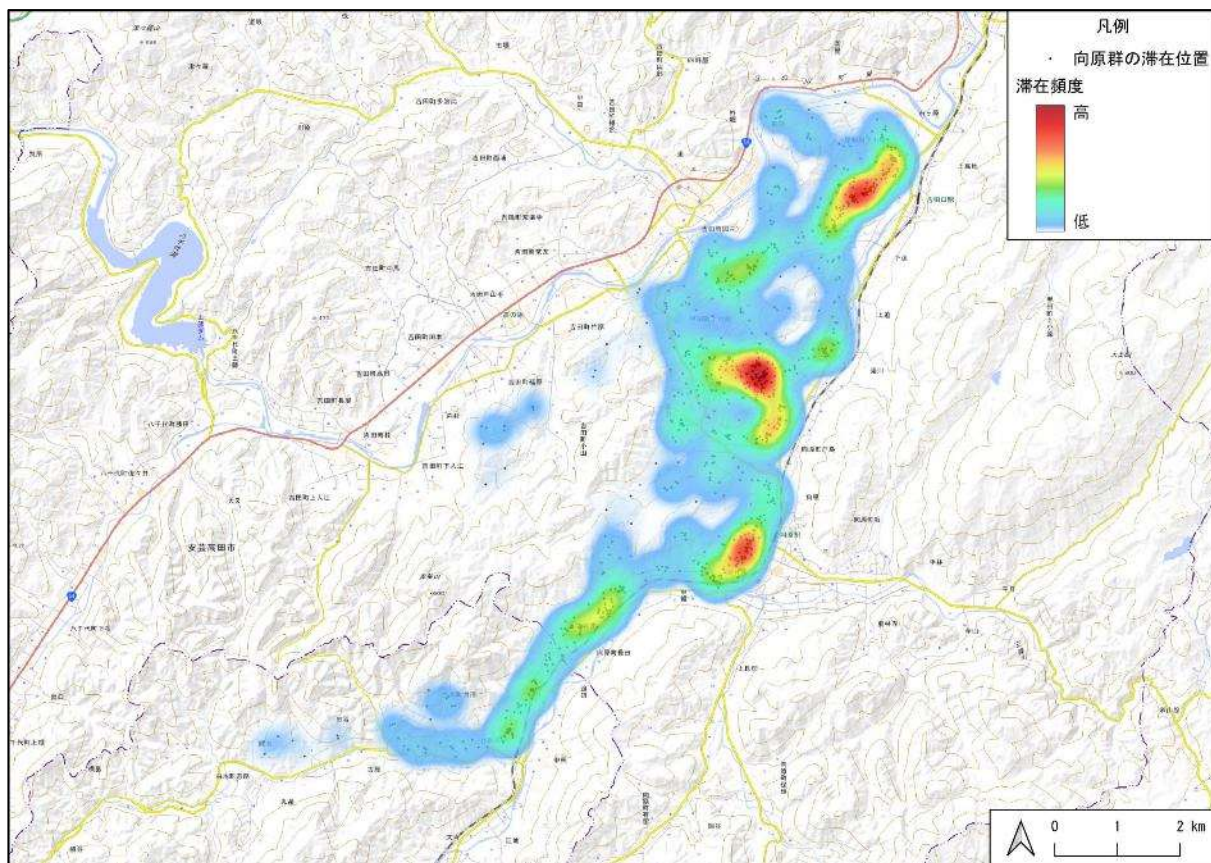


図 2 向原群の滞在頻度（データ：R7.3.6～10.14）

4) 時季ごとの向原群の滞在位置

時季ごとの向原群の滞在位置を図 3、図 4、図 5 に示す。

向原群は、時季によって局所的に滞在が集中するということはないものの、滞在所の偏りはみられた。

春季においては、安芸高田市の向原町、甲田町、吉田町に加え、広島市の白木町に滞在与、行動範囲内の広い範囲で滞在が確認された。なお、吉田町付近での春季の滞在は、4 月のみであった。夏季においては、吉田町付近での滞在はほぼなく、向原町、甲田町付近に滞在が偏っていた。また、広島市白木町への滞在は、7 月以降はほぼなかった。秋季においては、まだデータが半分（10 月前半まで）ではあるものの、向原町、甲田町付近に加え、再び吉田町付近での滞在が確認されるようになった。

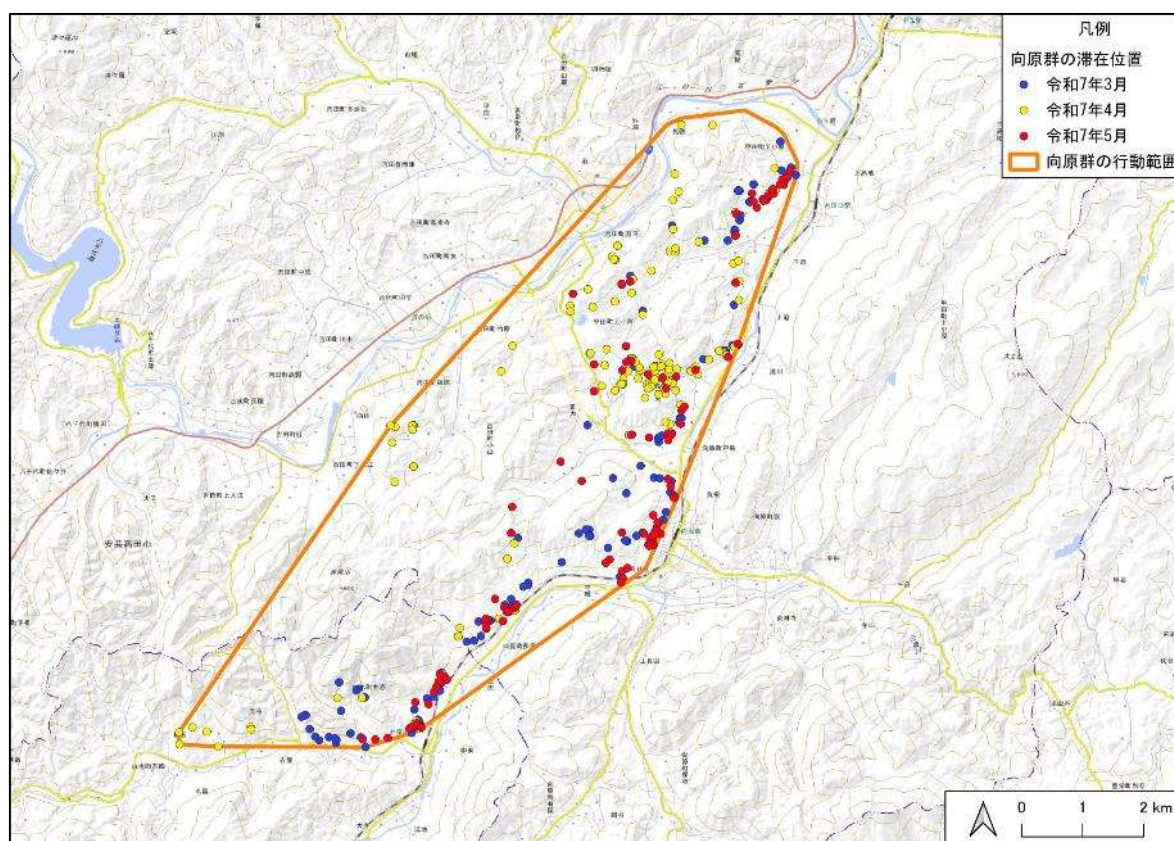


図 3 時季ごとの向原群の滞在位置（春季：R7.3.6～5.31）

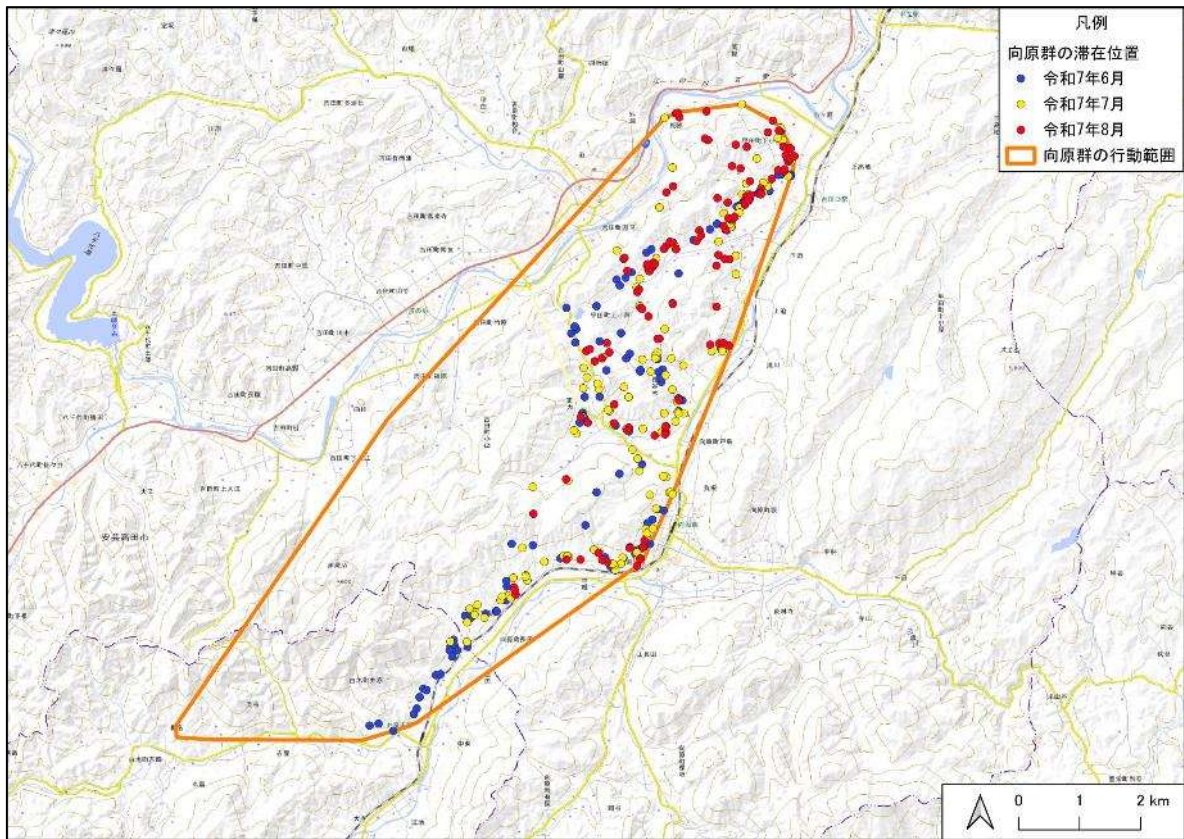


図 4 時季ごとの向原群の滞在位置（夏季：R7.6.1～8.31）

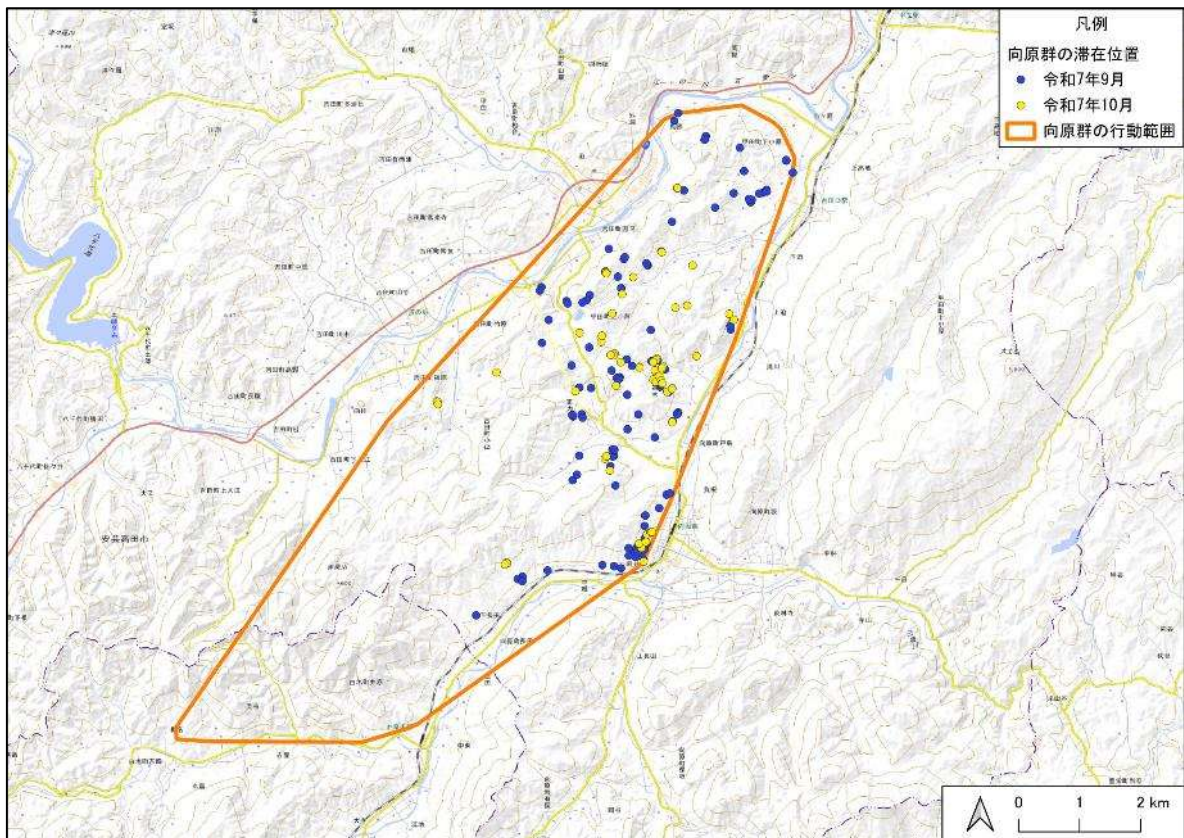


図 5 時季ごとの向原群の滞在位置（秋季：R7.9.1～10.14）

(2) まとめ

向原群は、滞在位置が山際に偏っており、山奥へ戻る事が少ないことから、人里への慣れが進み、人里・農地に強く執着している群れである可能性が高い。

滞在頻度を確認すると、安芸高田市向原町の越門、向井原付近、甲田町の内長見付近の滞在頻度が高かった。

加えて、時季ごとの滞在位置を確認したところ、時季ごとに滞在位置の偏りが確認された。安芸高田市吉田町付近、広島市白木町付近においては、時季によっては滞在がなくなる一方で、滞在頻度が高い地点が確認されている安芸高田市向原町、甲田町付近は、すべての時季において滞在が確認された。

まだ、向原群に GPS 発信器が装着されてから一年が経過していない（10 月後半から 2 月までのデータなし）ものの、向原群の滞在が多い場所などは、みえてきている。現時点で、すべての季節で滞在が確認されている向原町、甲田町付近での追い払い、誘引物の除去、侵入防止などの対策を計画・実施していくことは必須とし、出沒時季が限定的な吉田町付近においても、出沒が多くなる時季の出沒要因を特定するなどし、集中して、対策を実施することが望ましい。